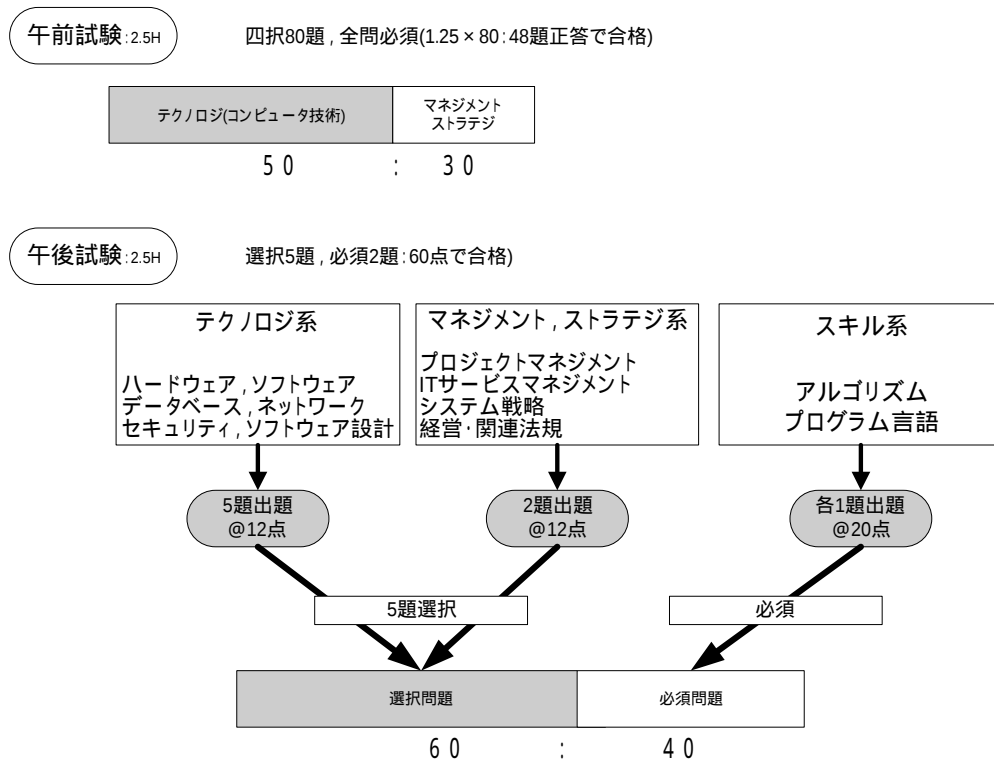


～「基本情報技術者 最新版！傾向と対策」～

1. 試験の概要



2. 平成 21 年度秋期試験の講評(TAC 速報)

【総 評】

午前試験は定番テーマでの出題が多かったため、全体としては解き易い問題セットであったと思われます。テキストの学習及び過去問題演習により十分に対策して試験に臨んだ方ならば、確実に合格ラインに達するでしょう。

午後問題は、必須のアルゴリズムの難易度が高めですが、前半の選択問題及び後半のプログラム言語の問題は標準レベルであり、時間内には解答できたと考えます。全体的な難易度は前回と同程度と考えられます。

【午前】

ジャンルごとの出題内訳は以下のとおりです。前回と比べると基礎理論が少し減り，その分他の科目が1問ずつ増えています。

●テクノロジー系：50問

- ・基礎理論：5問
- ・コンピュータシステム：18問
- ・技術要素：19問
- ・開発技術：8問

●マネジメント系：10問

●ストラテジ系：20問

午前試験全体としては，試験センターから発表されているシラバスの範囲からまんべんなく出題されていますので，事前の知識習得が得点の鍵になっているといえるでしょう。

テクノロジーでは，一部で新しい用語での出題が見受けられるものの，問われている内容自体は基本情報技術者試験の定番テーマです。また，計算や事例についても複雑な問題はそれほど多くなく，過去問題からの流用も見られたため，比較的解きやすかったのではないのでしょうか。

マネジメントでは，基本的なマネジメント技法と用語での出題でしたが，サービスマネジメントやシステム監査についても，基本の知識をお持ちの方であれば問題なく正解を得られたでしょう。

ストラテジは，高度からの流用が多かった前回21年春と比べると，旧初級シスアド試験で見られたテーマから出題が多く，少し易しめという印象を持ちます。テキストと問題集で標準的な試験対策を行った方なら，時間内に余裕をもって合格に必要な正答数を得られたことでしょう。

午前試験全体では，難易度は前回と同程度～やや易しめ，と考えられます。平均点，ボーダラインともに前回並み，または前回より上回るものと考えられます。

【午後：知識応用系】

午後試験全体での難易度は、前回同様やや高めに設定されていました。
今回は、前半(問 1～7)の選択問題では、次の分野から出題されました。

問 1：ハードウェア

問 2：データベース

問 3：ネットワーク技術

問 4：情報セキュリティ

問 5：ソフトウェア設計

問 6：マネジメント

問 7：ストラテジ

前半の選択問題では、前回 21 年春に出題されていなかった「ネットワーク技術」が出題されています。また「ソフトウェア設計」では、はじめて UML を用いたオブジェクト指向での出題が特徴的といえるでしょう。

これらの選択問題については、どの問題を選択したか、試験時間内でまんべんなく正解を導くことができたかがポイントになりますが、問題別では、問 6 が易しく、問 3 が難易度が高め、という印象を受けます。また問 7 のストラテジは対費用効果を計算で出題しており、手間がかかりますが難易度は標準的です。

【午後：スキル系】

必須問題である問 8 の「擬似言語」では、ニュートン法という数学アルゴリズムが出題されました。数学アルゴリズムについて、多項式をループに展開する手法などに慣れた方であれば、比較的容易に正解を得ることができますが、事務処理アルゴリズムや基本アルゴリズムのみで学習された方は少し苦戦されたことが考えられます。数学アルゴリズムを知らない方でも、問題文を落ちついて読み、アルゴリズムの処理の流れを把握できた方なら、いくつか正解を得ることができたでしょう。今回は、この問 8 が合格の鍵を握るといえそうです。

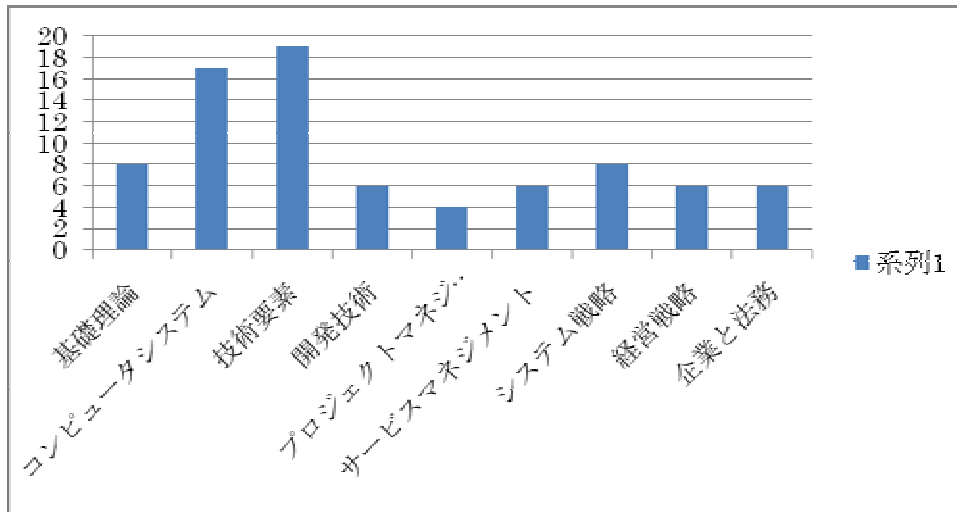
後半のプログラム言語の選択問題では、オブジェクト指向プログラミングの基本的な知識で解くことができた Java が易しかったため、Java を選択された方がやや有利であったと思われます。他に集計処理の COBOL、ビット処理のアセンブラ、構造体によって多倍長整数を扱う C の各難易度は標準的であり、この 3 言語の難易度には差がないといえます。なお、表計算については、問題で与えられる条件を複雑な式で実現するなど、やや難しい印象を受けます。表計算については前回 21 年春より意図的にハードルを上げているように感じられます。

午後試験全体として、難易度がやや高い印象を受けますが、前回 21 年春と難易度自体はほぼ同程度であり、平均点、ボーダラインともに前回と同じくらいであろうと考えられます。

3. 平成 21 年度秋試験のポイント

【午前試験】

- マネジメント&ストラテジ部分が若干易しくなったこと以外は，前回並み。



→ まんべんなく学習し，苦手分野を一つでも少なくすることが対策の鍵。

【午後試験：知識応用系】

- ネットワークが出題された。
 - 前は情報セキュリティのベースであった。
 - 学習上，情報セキュリティとネットワークは「不可分」。
 - 今後もこの 2 テーマは，重点対策分野(Core 分野)から外せなくなった。
- オブジェクト指向が出題された。
 - 応用情報ではおなじみのテーマ，いよいよ基本情報に降りてきたか？
 - Java 選択者は，若干有利だったかも。
- マネジメントは易しかった。
 - 技術系の受験者も，保険として一通り対策すべき

【午後試験：スキル系】

アルゴリズムにニュートン法が出題された。

→ この問題が「合否を分けた」かも知れない！

Java が易しくなり，表計算が難しくなった

→ 言語別の難易度の差(不公平さ)が修正に向かっている

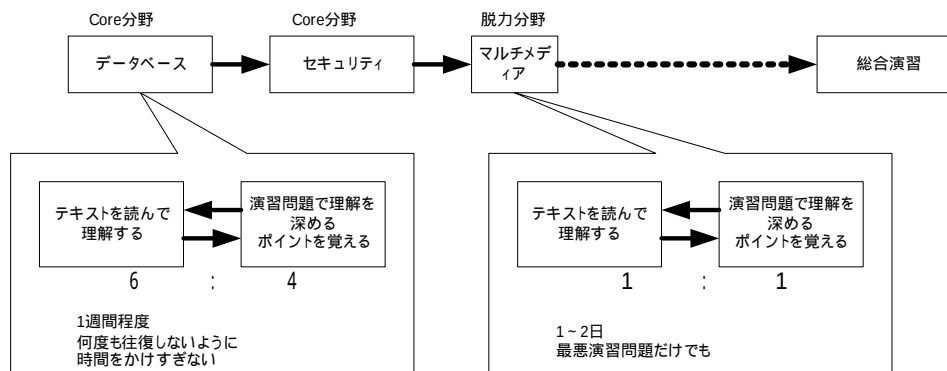
ただし，それでも表計算の「習得のしやすさ」自体は変わらない

4. 分野別対策法

(1) 午前対策

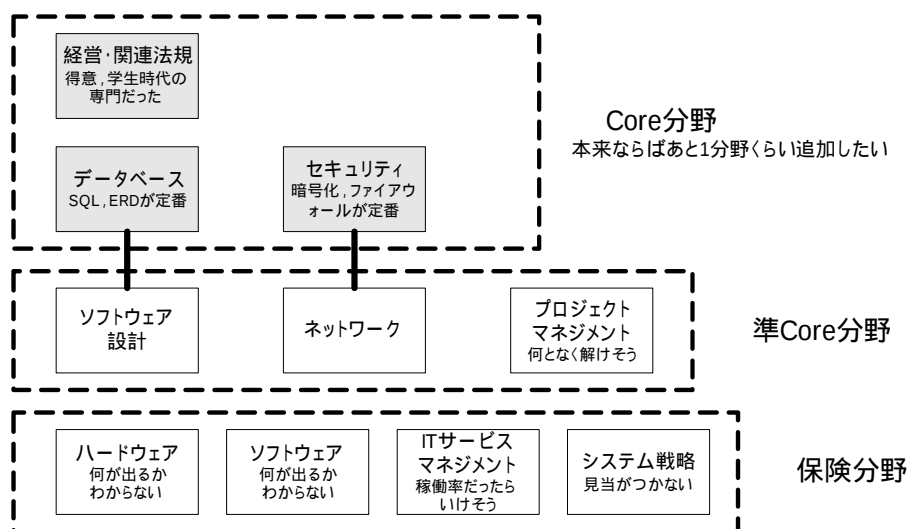
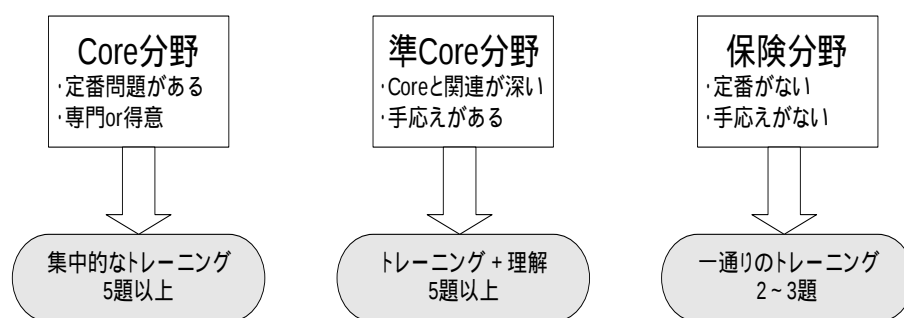
- ・捨てる分野は作らない
- ・午後試験を見据えた上で「Core 分野」と「力を抜く分野」を作る
- ・(特に技術系) → マネジメント&ストラテジは捨てない
(午後の保険にもなる)
- ・暗記に頼らない → 暗記は必要だが、理解した上での暗記
- ・問題演習に頼り切らない
 - 「何回分かの過去問を繰り返して練習すれば受かる」はリスク大！
 - 知識の断片化が生じる
- ・問題演習は得点力を劇的にアップさせるので軽視は禁物！

(学習方法)



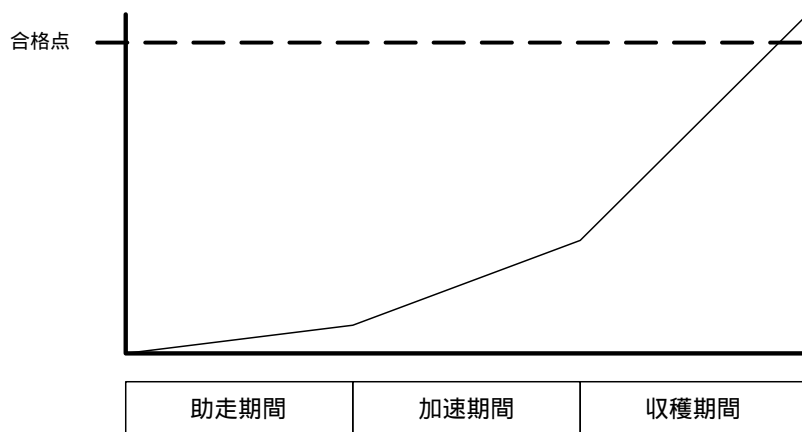
(2) 午後選択問題対策

- ・トレーニング中心。間違えてしまった設問は解説で理解する。
場合によってはテキストに戻って復習し直す。
- ・原則として捨てる分野は作らない(保険)。ただし、(午前と同様)分野にメリハリを付ける。
- ・Core 分野，準 Core 分野，保険分野に分ける
 - Core 分野は強力な得点源にする。
 - 準 Core 分野は Core と同じくらいに育てる
 - 保険分野はそのもの保険，余力を入れない



(3) 午後必須問題対策

- ・問題を解くための「スキル」が必要な分野
- ・時間をかけた長期的な学習でスキルを高める
 - スキルを合格レベル(50～80%)にあげるには，3 ヶ月から(場合によっては)6 ヶ月近く必要



助走期間(0.5～2 ヶ月)

- ・とにかく，何でもよいのでプログラムの全体像や流れをつかむようにする。
この期間に集中して文法などを覚えようとしてもムダ！
- ・わからないことを気にするよりも，わかるところをつまみ食いする。
- ・アルゴリズムのテキストを眺めてみる。プログラム言語の入門書をざっと読みする。
- ・アルゴリズムの読解を「試みる」。

加速期間(1～2 ヶ月)

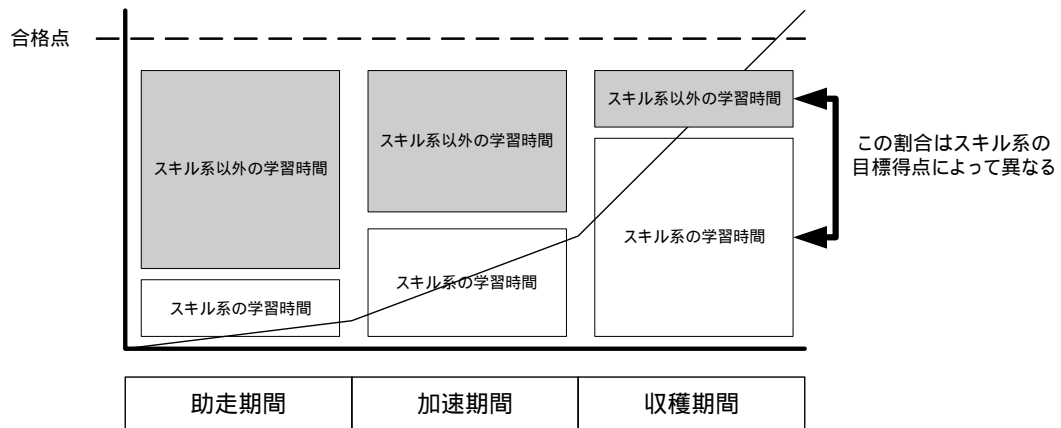
- ・テキストをしっかりと読んで，疑問点をつぶしてゆく。
文法や記述法などを確実に覚えてゆく。
- ・わからなければ誰か(先輩，講師，友達，etc)に聞く。
それでもわからなければ先に進む(先に進んで解決することもある)。

収穫期間(1～2 ヶ月)

- ・とにかく過去の問題 or 問題集などに収録された問題を解く。
- ・わからないところは，解説などを読んで理解する。
とにかく「完全に理解する」まではプログラムに取り組む。
- ・実際の解答時間(1 題あたり 20～25 分)にはこだわらない。
- ・終盤では解答時間を意識したトレーニングを行う。
- ・この期間ではできるだけプログラミングに集中する。
他分野の学習は気晴らし or 実力維持トレーニング程度。

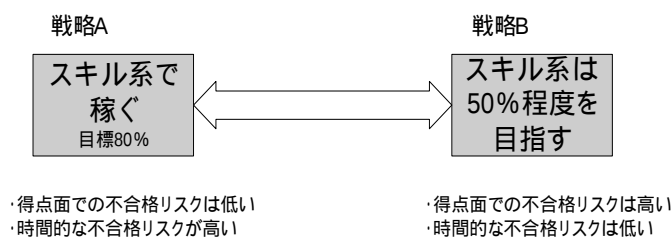
5. 対策スケジュール

全体のスケジュールは、午後必須問題対策(スキル系)が決定する！



- ・午前対策は「今すぐ」始める → **スキル系の助走期間が最大のチャンス**
- ・午前対策を一通り終えてから午後選択問題トレーニングに移った方が、成功率は高い
- ・スキル系を「50%でよい」とするならば、スキル系の学習時間を減らし、選択系のトレーニングに回す

(事前に計画しておきたいこと)



戦略 A の選択ポイント

- ・プログラムが得意、または経験がある
- ・仕事の関係上、プログラム言語に習熟する必要に迫られている。
- ・助走期間の間、アルゴリズムのテキストが特に違和感がなかった。
- ・助走期間が1ヶ月程度で終了した。

戦略 B の選択ポイント

- ・プログラムの読解が苦痛だった。
- ・助走期間に1ヶ月以上かかり、できるという実感がわからない。